



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。今回は東京医療保健大学の取り組みをご紹介します！



前を向く、医療人づくりを、追求する。

東京医療保健大学

TOKYO HEALTHCARE UNIVERSITY

<http://www.thcu.ac.jp>

建学の精神

東京医療保健大学は、教育基本法に基づき学校教育法の定める大学として、また私立学校法に従い、知識社会が実現すると予想される21世紀において、建学の精神である

「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」

「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」

に則り、医療分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することの出来る人材の育成を目的としています。



東京医療保健大学は、5学部7学科、2専攻科及び大学院修士課程・博士課程を有する医療系大学です。

7カ所の恵まれたキャンパスを有し、各キャンパスの近くには提携医療機関があり、実習先として日々学生たちは行き来し、医療のいまを学んでいます。

東京医療保健大学が文部科学省による補助金事業「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業（令和3年度補正）」に採択され約1.2億円の補助金の交付決定通知を受けました。

東京医療保健大学(本部：東京都品川区、理事長：田村哲夫、学長：亀山周二、以下本学)は、文部科学省による令和3年度大学改革推進等補助金『デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業（令和3年度補正）』（1件当たりの上限1.5億円）、において採択されました。

最終的な交付決定額は約1.2億円となり、昨年の『デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン』（1件当たりの上限1億円）に引き続きDX関連の1億円規模の補助金事業を2年連続で採択を受けたこととなる。私立大学且つ医療系の大学で、本分野のDX関連の補助金事業を連続で獲得しているのは本学のみです。

デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業（令和3年度補正）

デジタル社会への環境変化に対応した資質・能力を涵養するため、DX教育設備を活用した教育カリキュラム開発や実験・実習の高度化など、「デジタル×専門分野」の教育を進め、我が国の産業界等のデジタル化・高付加価値化をけん引する高度専門人材育成を加速することを目的としています。大学など99件の申請の中から、39件採択されました。本学は、昨年採択を受けた「デジタルを活用した大学高専教育高度化プラン」に引き続き約1億円規模の補助金を2年続けて獲得したことになります。

詳しくは、以下、文部科学省のページよりご確認ください。

文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」実施機関の決定について https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sankangaku/1413155_00015.htm

<本学の取組>

本学は、「ヘルスケア産業のイノベーションを加速しwell beingに貢献するデジタル人材の育成」を掲げ申請を行いました。世田谷キャンパス（東京都世田谷区）に所在する医療保健学部医療栄養学科及び同学部医療情報学科の教育課程に着目し、両学科の特色を生かした取組を申請し採択されました。（別図参照）

【医療栄養学科での取組】

昨今、デジタル技術の活用が進む栄養指導・栄養教育に着目し、AIや情報端末を活用した対象者への個別的・全人的指導の実践を行う。栄養管理や指導のDXを進めるために、栄養指導・教育科目を中心に、栄養分野にデジタルを適応するスキルと、人とデジタルが調和した栄養管理を行うマインドを醸成する。

【医療情報学科での取組】

「医療分野に強い情報技術者」育成のカリキュラム(Society4.0相当)も活用しつつ、「AI、IoT、データサイエンス科目」を大幅に補強しSociety5.0のデジタル人材育成にパラダイムシフトする。そのため診療情報、医用画像等のリアルワールドデータ(RWD)処理・分析スキルの向上や、産業界と連携したDXプロセス体験により、デジタル技術と医療産業に応用するデジタルマインドを醸成する。

